

第72回国民体育大会愛媛大会選手選考基準要項

(一財) 富山陸上競技協会 強化部

1 出場条件

(1) 選手団

監督2名、選手29名以内（男子19名以内、女子19名以内）計31名以内の編成とすることができる。ただし、公認コーチを取得している者が、男子または女子の監督として参加する場合、監督、選手の兼任は1名とし、その場合は参加選手を30名とすることができる。

(2) 参加制限・資格

- ① 1種目1名、同一人の出場は2種目までとする。ただし、リレーは除く。
- ② 都道府県の子選会に出場しなかった種目には出場できない。ただし、1種目の予選のみに出場し、その種目の代表選手となった者は、予選に出場しなかった他の1種目にも出場できる。
- ③ リレーチームの編成は、男女とも、成年、少年A、少年Bから各1名、残りの1名はいずれかの種別とし、合計8名以内で申込むこと。
- ④ リレーに出場する者は、予選会の中の種目であっても参加していれば出場できる。
- ⑤ 成年女子800mには少年女子Aからもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年女子又は少年女子A、いずれか1名のみとする。
- ⑥ 成年女子5000m競歩には少年女子Aからもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年女子又は少年女子A、いずれかの1名のみとする。
- ⑦ 成年男子の10000m競歩の出場者は、5000m競歩の予選を経た者でもよい。少年男子共通5000m競歩、成年女子5000m競歩の出場者は、3000m競歩の予選を経た者でもよい。
- ⑧ 成年女子走高跳には、少年女子Aからもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年女子又は少年女子A、いずれか1名のみとする。
- ⑨ 成年は、平成11年4月1日以前に生まれた者とする。
少年Aは、平成11年4月2日以降、平成12年4月1日までに生まれた者とする。
少年Bは、平成13年4月2日以降に生まれた者とする。
(ただし、中学生は、3年生のみ参加できる。)
- ⑩ 監督は、日体協公認スポーツ指導者制度に基づく公認陸上競技コーチ、公認陸上競技上級コーチ、又は公認陸上競技指導員、公認陸上競技上級指導員の資格を有する者とする。

(附則)

(1) ふるさと選手制度について

成年種別に出場する選手は、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県から出場することができる。ただし、原則として1回につき2年以上連続として、利用できる回数は2回までとする。

ふるさと選手については、年度ごと毎年、登録手続きをしなくてはならない。

(2) 国際大会等出場者について

日本陸連の規定により国際大会出場のため日本代表に選出された競技者は予選会が免除される場合もある。

2 選考競技会

- (1) 富山カップ陸上大会
- (2) 富山県陸上競技選手権大会
- (3) 富山県民体育大会第一部

【参考公式競技会】

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ○各地区学生陸上競技対校選手権大会 | ○富山県高等学校陸上競技対校選手権大会 |
| ○日本陸上競技選手権大会 | ○北信越高等学校陸上競技対校選手権大会 |
| ○各地区実業団陸上競技選手権大会 | ○富山県中学校陸上競技選手権大会 |
| ○富山県中学校通信陸上競技大会 | ○全国高等学校陸上競技対校選手権大会 |
| ○全国高等専門学校体育大会 | ○北信越中学校陸上競技選手権大会 |
| ○日本学生陸上競技対校選手権大会 | ○全日本実業団陸上競技大会 |
| ○北信越高等学校新人陸上競技大会 | ○日本ジュニア・ユース陸上競技選手権大会 |
| ○ジュニアオリンピック陸上競技大会 | |

3 選手選出基準

- ① 富山県国体選手として心身共に健全な選手を選考する。
- ② 国体選考基準記録表（別表）をもって選考する。
- ③ 選考基準記録 A を突破した者で、選考競技会において上位の選手から選考する。
- ④ 選考基準記録 B を突破した者で、選考競技会において上位の選手から選考する。
- ⑤ リレー種目においては、個人種目エントリー状況などから総合的に判断し、選考する場合もある。
- ⑥ 最高記録を参考に、強化部で総合的に判断し選考する。
- ⑦ 富山県国体選手として相応しくない選手は選考しない。

4 国体選手選考

原案を強化部で練り、(一財)富山陸上競技協会国体選手選考委員会会議後、(一財)富山陸上競技協会理事会を経て内定となる。その後(公財)富山県体育協会理事会の決定により、正式決定となる。

正式決定後、所属長または本人宛に内定通知を行う。辞退する者は速やかに申し出ること。

5 確認事項

- ① 国体富山県予選会に必ずエントリーすること。欠場する場合は診断書または棄権届を提出する。
- ② 内定後は、国民体育大会を最重要大会として本大会に向け調整すること。
- ③ 県内の成年・少年選手は、強化部が主催する国体練習会及び合宿に必ず参加すること。
参加しない選手は、内定を取り消す場合もある。
- ④ 本大会までに故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合は、内定を取り消す場合もある。
- ⑤ 選考基準記録の有効期間は、2016年10月12日(岩手国体終了翌日)から選考競技会(3)の最終日までとする。

